進路だより Together 第１号

令和２年８月
富山聴覚総合支援学校
進　路　指　導　部

進路に関する様々な取り組みや情報をお伝えします。

今年度の進路関係行事

今年度は、コロナウイルス感染症拡大の影響で、１学期の進路関係の行事は中止になりました。就業体験は、感染予防のため、３年生のみ実施しました。一方、大学入試については、例年どおり試験が行われることになっています。今後も、感染状況を考慮して、行事を実施する予定です。

月	行　事	対象学部
６月	進路希望調査、進路相談 **進研模試**	中学部、高等部全員 **高等部３－１進学希望者**
７月	就業体験	高等部３年就職希望者
８月	就業体験 就職ガイダンス（労働局主催）	高等部２、３年就職希望者 高等部３年
９月	※就労支援セミナー（労働局主催） 職場見学・体験	高等部２年　生徒及び保護者 高等部１－２
１０月	採用試験（企業）	高等部３年
１１月	就業体験 **ベネッセ駿台模試**	高等部１－２、２－２、３－２ **高等部３－１進学希望者**
１２月	先輩に学ぶ 進路希望調査、進路相談	中学部、高等部全員 中学部、高等部全員
１月	就業体験 **大学入学共通テスト**	高等部２－２、３－２、３－３ **高等部３－１進学希望者**
２月	聴覚障害者センター見学 **大学一般入試**	高等部３－１、３－３ **高等部３－１進学希望者**
３月	本校高等部入学検査 就労移行支援連絡会 就職ガイダンス（労働局主催）	中学部３年、高等部３年希望者 高等部３年 高等部２年

※は開催日未定

（中止）大学、高校のオープンキャンパス（高２、高３、中３）、６月の就業体験（高２）、職場見学体験、仕事見学会（高１）１４歳の挑戦（中２）、半日職場実習（高２、高３）

７月１５日～２１日　就業体験　高等部３―２、３―３

新型コロナ感染症拡大の影響で、どの事業所も生産や雇用に苦慮している中、本校の就職を目指す３年生のために、就業体験を引き受けてくださいました。３年生にとっては、現場での実習をとおして就職する力があるか、見極めていただく貴重な体験となりました。５日間という短い期間でしたが、一人一人が目標を設定して意欲的に取り組み、今後の課題を見付けることができました。受け入れてくださった体験先の皆様に感謝し、さらに自分を高めるように努力を続けることが大切です。

就業体験先	仕事内容
朝日印刷ビジネスサポート株式会社	屋内清掃、軽作業
株式会社スカイインテック	館内清掃、喫茶補助　等
富山総合ビルセンター株式会社	商業施設の清掃
株式会社大阪屋ショップ	バックヤード（調理補助品出し）
就労継続支援Ａ型事業所オーシャン	部品組み立て等
京セラ株式会社	部品選別　等
（８月下旬実施）　ＹＫＫ株式会社	製造
（８月下旬実施）　株式会社村田製作所	製造

体験先からの評価　（できたこと、課題として指摘されたこと）

・指示した作業内容を理解し、手順どおりに作業ができた。
・分からないときに質問できた。・何事にも嫌な顔をせず取り組むことができた。
・出勤時、退勤時の挨拶ができない。相手の目を見て元気に挨拶ができるようになってほしい。
・作業内容を飛ばさないようにする。　・自力出勤、遅刻をしないことが必要。
・働く自覚をもって、積極的に仕事に取り組んでほしい。

７月３１日(金)　第１回キャリア教育・就労支援委員会

生徒の社会自立、職業自立にむけて学校が取り組む課題について、企業やハローワーク等の関係機関から４名の委員を招いて協議をしました。その中で、各委員からいただいた情報や助言を紹介します。

★アフターケアに関する質問
・Ｑ：聴覚障害の方が働く職場でのどのような配慮があるか。
　Ａ：マスクがあると会話が分かりにくいので筆談やタブレットを使って連絡をして、勘違いやすれ違いを防いでいる。また、定期的な相談をしてもらうことで不適応やミスマッチが起きないようにしている職場もある。

★県内の雇用状況について（ハローワークより）
・求人数は前年に比べてコロナショックにより接客、飲食、サービス業は３割減っている。
・リモートワーク専門のパソコン入力作業の採用予定がある。

★就労支援の変化（就労移行支援事業所、就労支援センターより）
・求人情報や企業の作業量が減り、就業体験ができない状況にある。
・企業でのリモートワークの導入が増えていることから、在宅ワークの練習を行っている。チャレンジ雇用でも在宅ワークを行う人が増えている。通所や通勤が難しい人にとって、在宅で仕事ができるケースがでてきた。一方、生活リズムや余暇時間の使い方について課題がみられ相談が増えた。

★キャリア教育の取り組みについて
・キャリア教育は就職を目的とすることではない。企業でも、キャリア教育の研修を継続的に行っていて、就職してからどのように会社に貢献して、どのような人生を送っていくのかなどについて、社員研修をとおして考えてもらっている。
・学校にいる間に、得意・不得意を知っておくことはとてもよい。「自分説明書」を利用して自分に必要な配慮について周りの人に伝えることができるとよい。
・支援に行き詰まったときに出てくるキーワードは「家族」である。本人の課題について家族と会社が共通理解を図って連携できるようにすることが大切である。